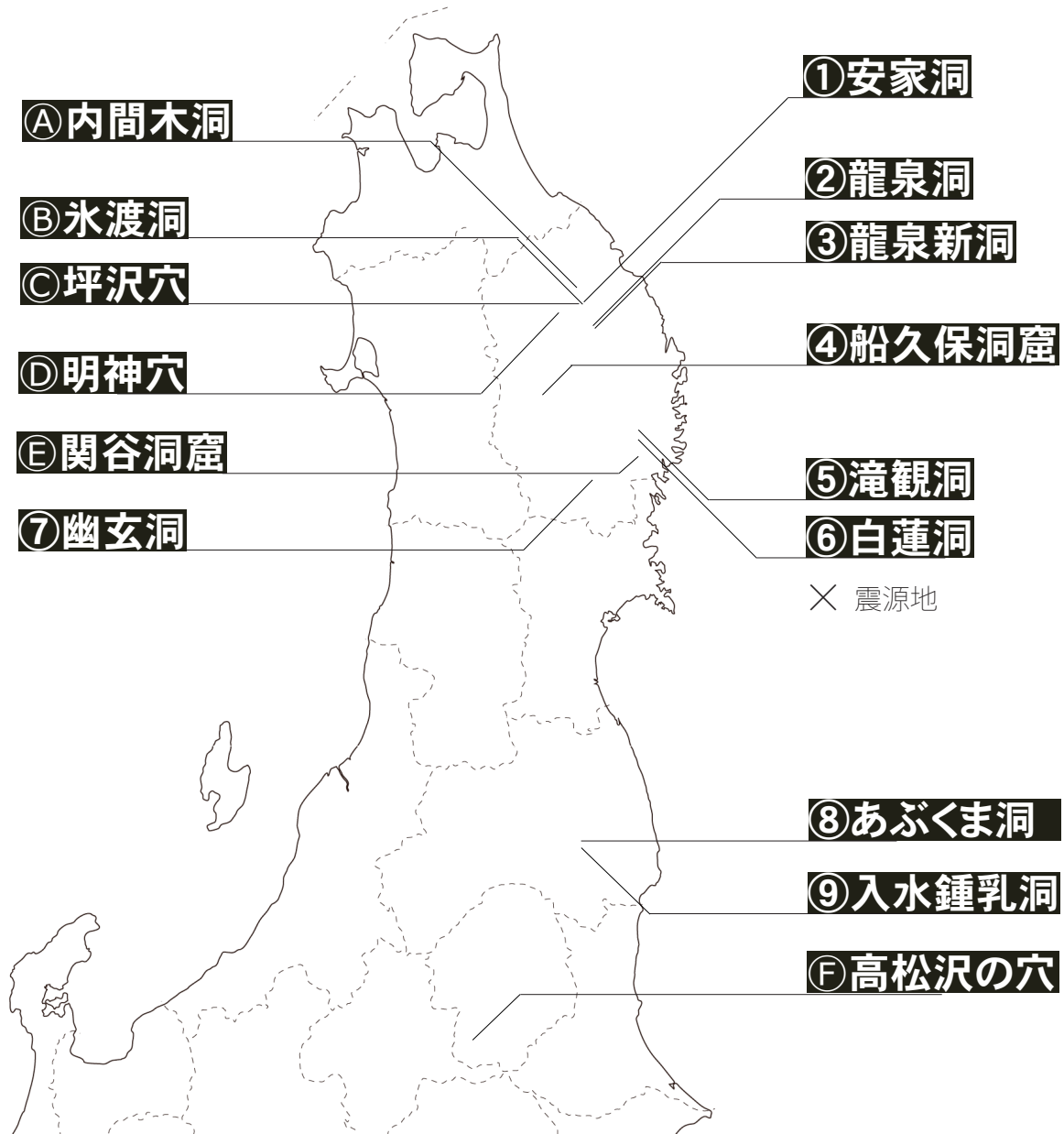


東日本大震災情報

2011年3月11日、午後2時46分に三陸沖を震源地とするマグニチュード9.0の大地震が起こり、続いて発生した大津波により東北・関東地方の太平洋沿岸部は壊滅的な被害を受けた。

ここでは、東北地方にある観光洞の落石等被害情報および営業状況を掲載する。また、東北・関東地方にある非観光洞についても落石等状況を掲載する。①～⑨は観光洞、①～⑥は非観光洞を表す。

なお、掲載する被害状況・営業状況は2011年6月時点の聞き取り調査によるものである。



観光洞の被害状況と営業状況

①安家洞 (岩手県下閉伊郡岩泉町)

日本洞穴探検協会が点検し、被害が無いことを確認、現在営業中であるが、来客数は去年に比べて減少した。

②龍泉洞 (岩手県下閉伊郡岩泉町)

施設の破損、崩落や落石は無し。日本洞穴学研究所が状況を確認し、4月27日より営業再開した。

大きな余震が1ヵ月以上続いたことで、地下水流の濁りが確認されたが、6月中旬ごろから回復している。

地震発生時、地底湖でゴムボートに乗って照明機材工事をしていた作業員が水面の波立つ状態を目撃している。